

# 福ちゃん

社協報

一緒に行くから  
楽しい旅行

## … 目次 …

- 2P ▶ 支え合いまちづくりレポート
- 3P ▶ こどもとふくしのまちづくり  
▶ 日本赤十字社ブース
- 4P ▶ 買い物外出ツアー
- 5P ▶ 富山県1泊2日の旅・季節の行事「七夕」
- 6P ▶ わたしのチャレンジ  
▶ おでこポイント制度スタート  
▶ 「笹」寄贈のお礼

### 表紙：障がい者希望の旅

～富山県1泊2日の旅～

北陸唯一のウイスキー蒸留所

『三郎丸蒸留所』にて

(内容は5ページ参照)



＼ 小布施らしく ／

みんなで支え合う 移動・外出支援

## えべさの会

9月6日(水)  
全体会を開催します!小布施町  
支え合いまちづくり  
レポート Vol.30

6月26日、8月1日に“えべさの会”運営メンバー会議を行いました。

会の名前の由来になった「支援する側もされる側も、楽しく一緒に行こう(＝えべさ)」の気持ちをどんな形にしていけるか、何から着手するかが話し合いのテーマ。地域の移動・外出に関する課題を確認しながら、話し合いを進めました。

話し合いから方向性として見えてきたのは『“あの人”と“この人”がつながる、自家用車等を使った移動・外出支援』と、『みんなで一緒にお出かけをして、社会参加と交流から健康づくりにつなげたい』という2つのアイデアです。体制づくりの話し合いを進めつつ、「まずはやってみようよ」という声で、『みんなで一緒にお出かけ案』からスタートさせることになりました。



小布施の5年10年後の暮らしを見据えての話し合い

## 今後の予定

## ▶▶ 9月6日(水)“えべさの会 全体会”開催予定

『みんなで一緒にお出かけ案』を形にしていきます。行先は? どの車を使って? 等を具体的に話し合っていく予定です。えべさの会メンバーのみなさん、ぜひご出席ください。

## ▶▶ 地域支え合い型送迎ドライバー養成講座…10月頃開催予定

安心安全な送迎ボランティア活動を目的に、令和3年度に続いて送迎のボランティア講座を開催します。今回も自動車学校のご協力をいただく予定です。送迎ボランティアに関心のある方のお申込みをお待ちしています。

## “小布施町支え合いまちづくりレポート”が30回目を迎えました!



生活支援コーディネーター(以下 SC)2名は、誰もが安心して暮らし続けられる小布施町を目指し、住民のみなさんの集まりにお邪魔してお話をお聞きしたり、地域の支え合いの取り組みを取材してきました。身近な暮らしの中にある“お互いさま”の支え合いが、地域のみなさんを笑顔にする場面に触れ、支え合いとは“双方向”だと実感しています。今後もさまざまな支え合いに注目し、町のあちこちに広げていきたいです!

SC 伊藤



初回平成30年6月号から前号まで、自分が関わった29回分の支え合いまちづくりレポートを読み直して、改めて思ったのは“支え合いの仕組みづくりに覚悟を持って挑んでいるか”ということ。

さわやか福祉財団発行の『さあ、言おう 2023年6月号』に財団理事長の清水肇子さんが寄せた“新しいふれあい社会 実現への道～覚悟を持とう～”の記事が、SCとしての私の道標です。引き続き頑張ります。

『さあ、言おう』の  
記事はこちらから

SC 戸井田



「助けて!」と声をあげるには勇気がいりますよね。ですが、「助けて!」と言われたら“助ける”という日本人は90%を超えるという調査結果もあります。社協に寄せられる「助けて!」の内容で多いのはゴミ出しです。そして、冬になると多くなるのが『雪かき』です。猛暑の中、雪の話?!と思われるかもしれませんが、今からの備えが大切です。“自分”がどんな状態になっても小布施町で安心して暮らせるように、「助けて!」と気軽に声を出せる関係づくりと、引き受けられる支え合いの土壌づくり。どちらも進めていきたいと思います。



社協では、「誰もが自分らしく暮らすことができる」「人と人がつながり・支え・支えられる」そんなまちを目指して地域福祉活動を企画・実施しています。

福祉といえば『高齢者福祉』をイメージしがちですが、まちに暮らす人の中にはこどもたちもいます。社協ではこどもたちの福祉にも関わっています。

夏休みの児童クラブで、赤い羽根共同募金についてのお話や、新聞を活用したエコバックづくりをしました。ほかにも、小学校のクラブ活動に関わってくださるボランティアさんとのつながりづくりや、生活困窮家庭のこどもの支援活動にも関わっています。

社協では「こんなことが必要じゃないか」「こんなまちにしたい」という地域のみなさんの声に寄り添い、まちのこどもたちの福祉について一緒に考え、サポートしていきます。



## 日本赤十字社ブース

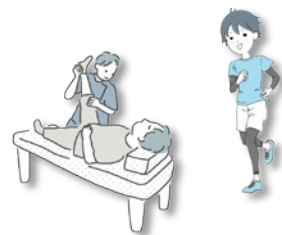
## 小布施見にマラソン de 広報活動！



日本赤十字社では国内外における災害救護をはじめ、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。そんな日本赤十字社の活動について一人でも多くの方に知ってもらおうと、7月16日の小布施見にマラソンで日本赤十字社ブースを設置し、広報活動を行いました。活動についてのパネルや、実際に避難所で配られる救急セット、防災啓発講座で使われるクイズなどを展示しました。



また、災害時には被災地で活躍する“柔道整復師会日本赤十字奉仕団”から7名の柔道整復師が参加し、足がつったり肉離れなどで医療的ケアが必要になったランナーの身体を診て、ケアやアドバイスを行いました。



ランナーからは「施術でとても楽になった。走る上でのケアの仕方も教えてもらってありがたい」「日赤ってこういう活動もしているんだね」との声が。また施術のランナーを待つご家族からは「待っている間に日赤の活動の説明を聞いて、視野が広がった」という感想もいただきました。

日赤では、災害が起きた時以外にも、防災啓発や災害への備えもしています





## 買い物外出ツアー

7月18日～24日

デイサービスセンター花の里

### JRC 部とは…

Junior Red Cross の略で、日本赤十字社の青少年部にあたります。  
福祉に関係するボランティアが主活動。  
学童教室で勉強を教えたり生徒の面倒を見たりしています。  
また福祉施設では掃除やレクリエーションで使う道具の事前準備などの活動をしています。

### 《中野立志館高校とコラボ企画》

- 福祉課3年生の福祉授業の介護実習として（7/18）
- 部活“JRC 部”の部活動の一環として（7/19～24）

買い物に付き添ってくれるボランティアを求めている花の里職員と、「高齢者福祉の分野を深く理解するために実際に施設体験を実施することが重要」と実習の場を求めている中野立志館高校福祉課教諭が、「買い物外出ツアー」でつながりました。



### 7月18日 「買い物外出ツアー」×「介護実習」



令和になって初めての買い物外出ツアーに中野立志館高校福祉課3年生の19名が授業の一環として、利用者さんの車いすや歩行介助、買い物のお手伝いなどを実習しました。

生徒さんからは「緊張して、なんて声を掛けて良いのか分からなくて困った」「授業で習ったとおりに行かなくて難しかった」「普段お年寄りに関わることがないから新鮮で楽しかった」との感想が聞けました。



車いすの介助では段差や動く時などの声掛けをしたり、買い物ではお金の計算や品物についての好みを聞いたりする中で、みなさんの表情がとても優しくなり、お互いの緊張感もいつの間にか無くなっていました。

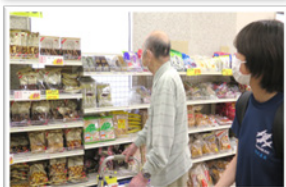
生徒のみなさん  
『福祉への道』  
応援しています！



### 7月19日～24日 「買い物外出ツアー」×「福祉の部活動」×「一般ボランティア」



引き続き、中野立志館高校 JRC 部の有志の生徒さんも買い物支援と交流のため、ボランティアに来てくださいました。生徒さんは「何を買いましょうか」「これはどうですか」と声かけをし、利用者さんはお孫さんと接するように笑顔で会話されていました。買い物の予算は 3,000 円までで、生徒さんは計算機片手に「あといくら買えますよ」「ちょっとオーバーです」などのお互いのやり取りもあり、持参のマイバックに入りきらない方もいました。



施設に戻り生徒さんが帰る時は利用者さんから「学校頑張ってるね」「今日はありがとう、また来てよ」と、名残り惜しまれ握手をする姿がみられました。

また、一般のボランティアさんにもご協力いただきました。過去にもいろいろな行事のボランティアに来ていただいていたおり、今回は期間中に何回も来てくれた方もいました。品物選びに迷うと「こちらの商品の方がいいかも」などアドバイスもしてくださり、会話も弾んでいました。



多くの方のご協力で  
とても楽しいお買い物  
できました



## 富山県 1泊2日の旅 7月4日～5日

障がい者希望の旅

障がいがあるから旅行になかなか行くことができない…。

でも障がい者希望の旅なら出かけることができる。



障がい者希望の旅を企画する際に大切にしていることは、障がいがある参加者の方のお体への負担は減らしながら、同時に思い出はたくさん手に入れ、帰宅後「また明日から頑張ろう」と思っていただけのような旅となることです。

富山県への旅行には、障がいのある方とご家族19名、ボランティア3名の計22名が参加しました。今回の旅行では、三郎丸蒸留所、八尾おわら資料館、富岩運河環水公園、新湊きつときと市場を楽しみました。

参加者同士で気遣ったり、おしゃべりを楽しんだり、お互いの交流も盛んでした。参加者とボランティア、職員、バスガイド、運転手、添乗員が一体となり、和気あいあいと楽しい旅行になりました。



リフト付きバスだから、  
バスの乗り降りだって  
問題なし

## 季節の行事「七夕」 7月7日

町デイサービスセンター  
デイサービスセンター花の里

短冊に“願い”を

- 『明るく正しく健康が一番』
- 『私と家族の健康第一』
- 『みんなと仲良くいられますように』



見事だ！

桃源荘サロン  
からの  
贈り物

桃源荘サロンのみなさんがデイサービスセンターで使う七夕用の飾りを作ってください、7月6日（木）に町デイサービスセンターに届けてくださいました。

顔見知りの方もいて、会話ははずみ笑顔いっぱいの贈呈式と交流会になりました。



七夕飾り“贈呈式”

職員大募集

資格を活かして、福祉の仕事をしてみませんか

詳細はホームページに記載 ▶



| 職種            | 勤務場所      | 勤務日  | 応募資格等        |
|---------------|-----------|------|--------------|
| ケアマネジャー（正職）1名 | 居宅介護支援事業所 | 週5   | 介護支援専門員資格    |
| 看護師（パート）1名    | 花の里       | 週3   | 看護師または准看護師資格 |
| 介護員（パート）若干名   | 町デイまたは花の里 | 週3～5 | ホームヘルパー2級以上  |
| 運転手（パート）1名    | 花の里       | 週5   | 普通自動車免許      |





住民のみなさんの  
「チャレンジ」を紹介

わたしの

チャレンジ!



ボッチャをみんなで楽しむことにチャレンジ

木下靖子さん 原 真一さん

私たちはスポーツ推進委員になって 11 年目となりました。これまでにいろいろなニュースポーツを体験しましたが、今年 3 月に町社協主催のボッチャ体験会に参加してから、すっかりボッチャの魅力にハマってしまいました。



今年度から栗ガ丘小学校では、児童たちの「ボッチャをやってみよう」という声でボッチャクラブが新設され、活動のお手伝いをするようになりました。私たちが感じた楽しさを上手く伝え、ゆくゆくは児童たちとボッチャ大会に出場するのが夢です。

ボッチャは年齢に関係なく、子どもから大人、おじいちゃんおばあちゃんまで一緒に対戦したりチームになって楽しめます。運動能力の違いも関係ありません。パラリンピックの競技種目で、今は各地で大会が開かれるほど広まり、気軽にできるスポーツのひとつになっています。ボッチャの輪が広がっていき、コロナ禍で制限されていた地域の活性化にもつながって欲しいです。



➡ あなたの「チャレンジ!」を募集中です。下記までご連絡をお待ちしています!

## おでこポイント制度



2023 年度  
8 月 1 日より  
スタート!



ボランティアは  
“2 ポイント” です!!  
この機会にボランティア活動を  
始めてみませんか

おでこポイントは「小布施町に暮らす住民のみなさんが、高齢になっても地域活動に積極的にに関わり、交流を楽しみながらお互いに支え合うことで、元気に暮らし続けてほしい」という思いからスタートしています。昨年から 1 年間を通してポイントが貯められるようになりました。一般的に通いの場やボランティア活動に参加した人は、参加しなかった人と比べて、要介護になる割合が少ないという分析結果もあります。これからも元気に暮らし続けるために、対象事業に参加しておでこポイントを貯めましょう!

|         |                                                                               |         |                                |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------|
| 対 象 者   | 65 歳以上の町内在住者                                                                  | 対 象 期 間 | 2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日 |
| 対 象 事 業 | 役場健康福祉課・公民館・町社会福祉協議会・町シニアクラブ連合会が主体となり行う事業<br>【今後、主体となる団体へ「活動事業一覧表」が配布される予定です】 |         |                                |

- ポイントカードは役場や健康福祉センター、対象事業の実施先にあります。
- 10 ポイント以上たまったら、商品券と交換できます。



みなさんのご参加  
お待ちしております

## 「笹」寄贈のお礼

玄照寺様より七夕飾り用の  
笹をご寄贈いただきました。  
ありがとうございました。



|        |                                      |       |              |
|--------|--------------------------------------|-------|--------------|
| 発行者    | 社会福祉法人<br>小布施町社会福祉協議会（小布施町健康福祉センター内） |       |              |
| E-mail | o-shakyo@stvnnet.home.ne.jp          | T E L | 026-242-6665 |
| U R L  | http://obuse-shakyo.org/             | F A X | 026-242-6696 |



社協報「福ちゃん」は共同募金の配分金で発行されています